

畜産事業

食品事業

観光事業

飲食事業

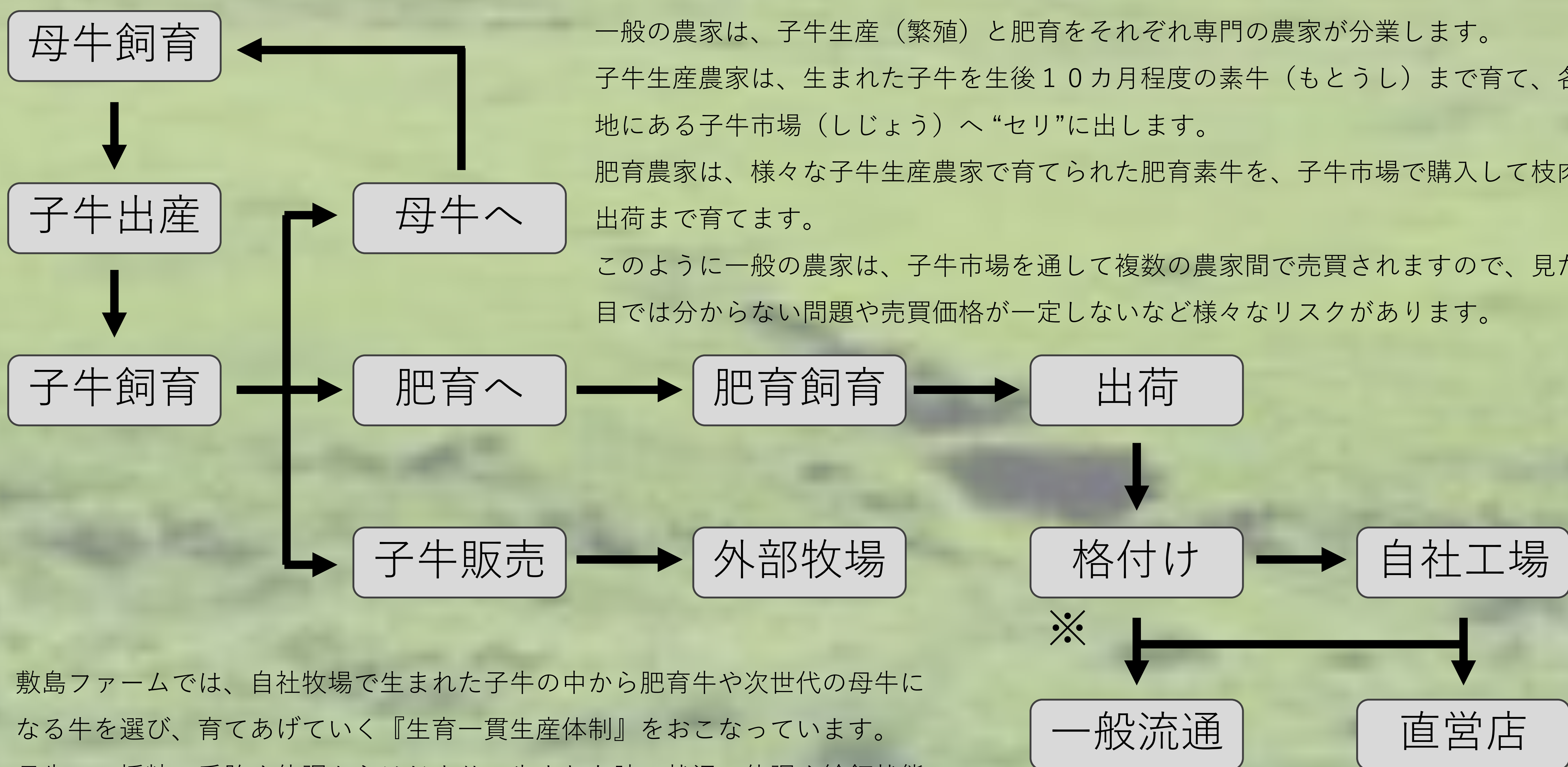
株式会社敷島ファームは、栃木県那須高原と北海道白老町を中心に、約10,000頭の黒毛和牛を専門に飼育する牧場です。

まごころ込めて生産された、高品質で美味しい黒毛和牛のお肉は、国内はもとより海外でもご好評をいただいております。

敷島ファームの美味しいお肉は、直営店でご堪能いただくことができます。また、直営加工工場の直売所でも販売をしております。

『畜産を通じて日本を元気に』を理念に、安心・安全・高品質で美味しい黒毛和牛のお肉を、皆さまへ自信をもってお届けしております。

敷島ファームの取り組み 『完全一貫生産体制』



敷島ファームでは、自社牧場で生まれた子牛の中から肥育牛や次世代の母牛になる牛を選び、育てあげていく『生育一貫生産体制』をおこなっています。

母牛への授精、受胎や体調からはじまり、生まれた時の状況、体調や給餌状態、

発育経過など、“**生まれる前からの全ての詳細情報**”をスタッフ間で共有します。もちろん、成牛になってからの繁殖・肥育成績も生産スタッフへフィードバックされます。飼育方法や環境、情報の一元化は、生産の安定化や安全性の確保、改善・改良に寄与するとともに、牛への急激な環境の変化を抑え、ストレスなどによる体調不良を回避することにも効果があります。

※格付け

出荷されたお肉がA5～C1の範囲で第3者（格付協会）によって査定されることをいいます。

A～Cは歩留（ぶどまり）といい、無駄なくお肉を利用できるかの評価で、5～1が肉質（サシや色等）の評価になります。

鮮やかな色でサシもしっかり入った5番のお肉が評価が高くお値段も高額ですが、3番など程良いサシや赤身も人気があります。



～敷島ファームの生産体制について～

敷島ファームでは、繁殖（子牛生産）から肥育（枝肉生産）まで一貫でおこなっております（**生育一貫生産体制**）。次世代を担う若い母牛も、敷島ファームで生まれ、育てられた子牛から選ばれます。

若い母牛は生後13カ月以上、ベテラン母牛は分娩後1カ月以上経過すると、獣医や授精師が母牛の様子を見て人工授精をします。

受胎すると285日の妊娠期間を経て子牛が生まれます。生まれた時の体重は35～40kg前後です。



生まれた子牛は、母牛と牧場スタッフによって大切に育てられます。生後6～7カ月になると自社飼育と販売にわけられます。

自社飼育用はさらに、**繁殖素牛**（もとうし）と**肥育素牛**にわけられ、それぞれ専門のスタッフによって飼育されます。

販売用の子牛は、一般の農家さんのように**子牛市場**でも販売しますが、敷島ファームでは大切に育てた子牛を、安心してお任せすることができる農家さんへの**直接販売**が中心です。販売先の農家さんとは販売後も様々な情報交換をして、より良い牛づくりに生かしています。

繁殖素牛は、生後13～15カ月程度まで育てられたのち、次世代を担う繁殖牛として、母牛たちの仲間入りをします。

肥育素牛は、生後28～30カ月前後で出荷されるまで、熟練の肥育専門スタッフにより大切に育てられます。

繁殖牛は5～10月までの期間、放牧場でのびのびと健康的にすごします。肥育牛は放牧せずに牛舎でゆったりとすごします。

もし、**皆さまが敷島ファームで放牧されている牛たちを見かけた場合、その牛たちはすべて繁殖母牛になります。**



肥育の良し悪しは、子牛時期の育てられ方に左右されます。仔牛の時期にしっかりと餌を食べさせ、お腹をつくらないと、肥育時期になっても餌を満足に食べることができず、大きく育てることができません。子牛市場から購入する一般の牧場では、子牛が生まれてから販売までの詳細状況の把握はほぼ不可能ですが、生育一貫生産体制の敷島ファームでは**“全ての情報が牧場スタッフで共有”**されますので、最適な飼育が可能です。



敷島ファームは安全・安心を第一に、高品質な黒毛和牛をお届けしております。

